

観察法レポート

# レンガ舗道の商店街

～元町商店街の魅力とは～

文学部 社会学科

一回生 西岡

## 1．はじめに

三宮から元町にかけては、商店街が長く続いている。三宮と元町では雰囲気が違うように感じる。元町はどこか落ち着いた印象を持ち、神戸らしさを感じる。その雰囲気はどこから感じられるのか調べてみることにした。

## 2．調査目的

元町商店街において、全体の共通点とそれぞれの場所における相違点を探し、元町特有の雰囲気、そしてどこか歴史や神戸らしさを感じさせる部分があるのかを調べ、特徴を見出そうと思う。(問題発見型)

## 3．調査対象

調査対象 元町商店街(元町1番街～元町6丁目)

このエリアの概要 1番街から6丁目まで、東西1.2キロにわたる商店街。さまざまな店が立ち並ぶ。1番街の隣の通りには南京町がある。

## 4．調査概要

調査日時 2004年10月14日(木)16日(土)18日(月)21日(木)いずれも午後  
全体の雰囲気、人々の様子などは、平日の午後を基本とする。

(14日は商店街の特徴を探し、16日は店に着目した観察を行い、18日は平日の様子(人通りなど)を観察、21日は店の外観を再調査した。)

調査方法 実際に商店街に行き(6丁目から1番街へ進む)商店街の様子や立ち並ぶ店を観察し、特徴的な部分を探す。また、全体の雰囲気と商店街を構成する店との関連を考え、元町商店街の落ち着いた独特の雰囲気を感じる理由を見つげ出す。

記録方法 写真、記録メモをとる。

## 5．調査項目

店に関して(数、店構え、種類、色やデザイン)

商店街の様子(看板やアーケード、モニュメントなどに着目する)

催し、祭りなどの情報

## 6. 分析(1) 商店街の様子

### \* 各商店街の様子

- 1番街...人通りが多く、活気がある。新しい店も多い。ファーストフードの店があるなど、チェーン店も多め。ビラ配りあり。それぞれの店の照明や看板が明るく、きらびやか。(写真1)
- 3番街...人通りが多く、活気がある。新しい店が多い。試飲用のお茶やコーヒーを配っている所があり、店の人とお客さんとの触れ合いが見受けられた。ところどころレンガ造りの店や洋館のような店がある。和菓子屋も多い。
- 4丁目...明るさ、活気は普通。白い店が多いように感じる。5丁目から入ると右側が白い石の外観の店、左側がレンガの外観の店が並んでいるようだ。この通りでは百円均一の店が新しいと感じた。
- 5丁目...白っぽい外観の店が多いなか、木とレンガの外観の店も多くある。看板が木のみせも多い。全体的に茶色が多いようだ。
- 6丁目...比較的静かである。自転車がが多いように感じる。照明が控えめなので、少し暗い感じである。古い店が多いが、所々新しい店が入っている。店の看板も新しいのと古い感じのものがある。(写真2)



写真1 1番街



写真2 6丁目

(表1)

	人通り	自転車	声・音
1番街	とても多い	ほとんどいない	呼び込みの声有り・会話に加え、店内からの様々な音が混じる。
3番街	多い。	少ない。	呼び込み多い。ゲームセンター、電子機器の音がよく聞こえる所あり。アナウンス有り。
4丁目	5丁目よりも増えてくる。	5丁目と同じくらい。	それぞれの店からの音がちらほら聞こえる(商品のオルゴールも)。
5丁目	6丁目と同じくらい。	6丁目より減った?	会話の声。商店街で流れている音楽が聞こえるほど静か。一部工事の音がうるさい。
6丁目	それほど多くない(ベビーカーを見かける)	結構通る(こいでいる)	静か。商店街で流れている小さな音楽と会話のみ。

- ・人通りは、1番街に行くに連れて増え、自転車の数は6番街に行くに連れて増える。
- ・1番街の方へ行くにつれて、騒がしくなる。6番街側は比較的静かである。
- ・それぞれの商店街で少しずつ雰囲気が違うように感じる。特に1番街と6番街を比べると、人通りや、騒がしさが全く異なっている。

\* イベント ほとんど毎月いろいろな行事が行われている。

- ・ 1月17日 鎮魂の灯火...1番街 18日・19日 走水神社厄除け...5丁目走水神社  
春節祭...南京町 開運くじ...3番街
- ・ 4月下旬 春のお茶会...1番街  
4月下旬~5月上旬 元町児童絵画コンクール展...5丁目
- ・ 5月中旬 神戸まつり
- ・ 7月24・25日 走水神社夏祭(天神祭)...5丁目走水神社  
下旬 元町夜市...元町全域
- ・ 8月上旬 みなとこうべ海上花火大会...メリケンパーク沖  
中旬 こうべ海の盆踊り...メリケンパーク
- ・ 9月下旬 中秋節...南京町
- ・ 10月上旬 元町ミュージックウィーク...元町全域
- ・ 11月上旬 秋のお茶会 誓文払い...1番街
- ・ 12月中旬 ルミナリエ...旧居留地・東遊園地 年末ジャンボくじセール...元町全域  
上記の予定は、元町商店街パンフレット参照

10月9日(土)から17日(日)まで「第7回神戸元町ミュージックウィーク」の期間でした。そして、10月9,10,16,17日の4日間は、商店街の中でストリートコンサートが行われており、ちょうど16日に調査のため商店街へ行ったので、その様子を見ることができました。

津軽三味線や沖縄民謡、コーラス、弦楽四重奏など、さまざまな音楽があちこちで演奏されていて、人だかりができていました。そのあたりでは多くの人が足を止め、聞き入っていました。中には口ずさむ人もいました。そのような雰囲気がすごくいいなあと感じました。このような催し物がいろいろ行われていることを知りました。



写真3 ストリートコンサートの風景 3番街

## 分析(2) 商店街全体の特徴

この商店街は、1番街から6丁目まで、全体で1つの通りを成している。天井はアーケ

ードでつながっており、その下では看板が連なっている。地面はレンガが敷き詰められている。おしゃれな電灯が通りを照らしている。これらはこの商店街で、全体を通した共通点である。しかし、よく観察してみると、それぞれの通りにおいて違いが見受けられた。

\* 電灯

これらの電灯が連なる様子は、たいへんおしゃれな感じを与えている。“すずらん灯”と呼ばれる3番街の電灯以外でも、それぞれ特徴のある電灯で、これら外国風のデザインの明かりは、昔から港町として外国との結びつきが高かった神戸を連想させるようである。



写真4  
上段左から、  
1番街、3番街、4丁目  
下段左から、  
5丁目、6丁目 の電灯

\*アーケード

アーケードは、ずっとつながっているため、変化はないと思っていたが、両側に模様がついているのに気付いた。一番特徴があるのは、4丁目のアーケード。(写真5)きれいな模様の飾りが続き、他の通りとは少し違った印象を与えている。また、4丁目には女神の像がある。ちなみに1, 3番街は同じであった。



上 写真5  
下 写真6

写真6は、4丁目の両端、通りの境目だけに区切りがあり、ここにも模様が見られた。

\* アーケードの看板

これも見逃しがちだが、少しずつ看板の形が違っていった。角が丸いものが多いが、5丁目だけ、だいぶ印象が違う。飾りがついている。



写真7

上段左から、1番街、3番街、4丁目  
下段左から、5丁目、6丁目 の看板

\* レンガ舗道

普通なら商店街全体で共通していると思うところだが、地面の模様、形や色、大きさが少しずつ違っていった。1番街には、ヴィア・フローラと呼ばれるガラスアート、3番街には、人々のメッセージが入っている所がある。





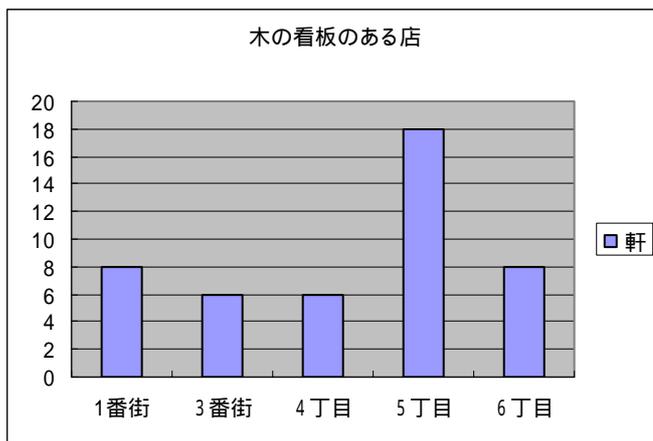
写真 8  
 上段左から、1番街、  
 3番街、4丁目  
 下段左から、5丁目、  
 6丁目のレンガ舗道

### 分析 ( 3 ) 店の外観

#### \* 店の看板

商店街を歩いてみると、木が用いられた看板が多いように感じたので、そのような看板がある店の数を数え、通りごとに比較してみた。グラフ ( 1 )

グラフ ( 1 )



1軒の店に2つ以上ある場合もあるが、ここでは店の数を単位とし、1軒とする。  
 外観の1部に店名が書かれている際、そのあたりが木であった場合を含む。

#### \* 外観

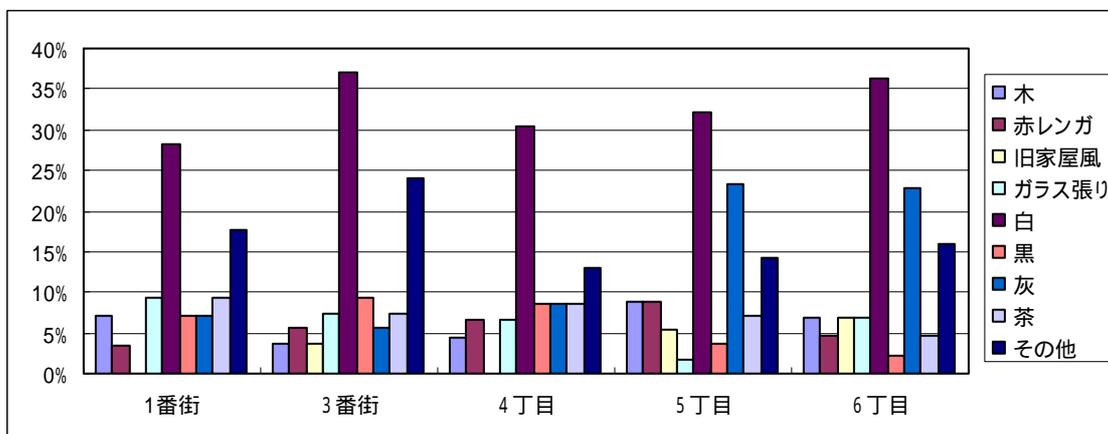
外国風のレンガ造りの店や、白い洋館風の店、ガラス張りの新しい店...様々な外観の店が立ち並んでいる。外観について大まかな項目に分け、集計した。

(表 2)

	木	赤レンガ	旧家屋風	ガラス張り	白	黒	灰	茶	その他
1番街	6	3	0	8	24	6	6	8	15
3番街	2	3	2	4	20	5	3	4	13
4丁目	2	3	0	3	14	4	4	4	6
5丁目	5	5	3	1	18	2	13	4	8
6丁目	3	2	3	3	16	1	10	2	7

## グラフ（２）

このグラフは、表２の値がそれぞれの商店街において、どのくらいの割合を占めているか記したものである。



店の数は、パンフレットに載っているものを数えると、1番街が85軒、3番街が54軒、4丁目が46軒、5丁目が56軒、6丁目が44軒。ただし、医院や事務所、ギャラリーなど、商品売らない店を除いた数である。

その他は、木とレンガ、黒と白など、項目が2種以上あてはまり判断しがたいものなどである。

ガラス張りとその他の色などでは、その他の色の特徴の方に含んだ。よってガラス張りというのは、ほとんどがガラス張りであるということになる。

全体的に白い外観の店が多かったが、もともとの建物の壁が、白い石造りであるためだと思われる。また、レンガと木と白い壁が交じり合った店がある（写真9）など、いろいろな要素が交じり合った店も多い。日本家屋風はちらほら見られる。（写真10）逆に洋館風のケーキ屋さんもある。（写真11）5, 6丁目は灰色の外観の店が多いので、特に全体が白系だと思いがちだが、5丁目の場合には特に、木またはレンガでできた店も多いため、この通りは「茶色が多い」と感じた。また、木でできた看板も他の商店街よりかなり多く、よく「木」を見かける通りであった。（写真12）また新しい店が多い1番街も、意外と木でできた店が多かった。普段身近にレンガ造りの建物は少ないので、この商店街内にはたくさんあると言え、大きな特徴とっていいだろう。（写真13）または地面がレンガ舗道となっているため、さらにそのように感じたのかもしれない。ガラス張りの店は、やはり1番街が1番多く、次に3番街が続く。新しい店の多くはガラス張りの店であるようだ。逆に5丁目には一面ガラス張りの店はなかった。（写真14）

写真 9



写真 1 0



写真 1 2



写真 1 1



写真 9

上半分が白い壁、一部レンガ造り、看板の所などが木といろいろな要素が混合している。いい雰囲気のコffee店。 5丁目

写真 1 0

左は日本家屋風、右はゲームセンター。感じの違う2店が隣同士になっている。3番街

写真 1 1

洋館風のケーキ店。3番街

写真 1 2

店全体が木でできていて、とても印象的である 5丁目

写真 1 3



写真 1 4



写真 1 3

レンガ造りの大きな和菓子店 3番街

写真 1 4

ガラス張りの新しい感じのお店。透明感があり、おしゃれに感じる。3番街

## 7. まとめ

神戸は昔から港町として栄え、この近くにある大丸神戸店などを含めた辺りは、旧居留地であり、洋風建築とそのたたずまいが今でも残っている。その影響からこの商店街にも洋風な感じを与える部分が色濃くの残されているようだ。レンガ舗道であり、またそれにあつたおしゃれな電灯がある。歩いているとレンガ造りの店もよく目にし、“レンガ”がこの商店街の大きな特徴であると考えられる。

また、新しい店も多く入っており、1、3番街が多いように感じるが、4、5、6、丁目でも古くからの店と新しい店がうまくなじんでいる。新旧、また店の種類も様々にあるが、どこか洋風な雰囲気をも損なわず、うまく調和してこの商店街を形作っているから、落ち着いた雰囲気をも作り出していると考えられる。あと木の看板を用いる店も多く、それは暖かみを感じさせていると思う。

一見するとすべて同じように見える事柄でも少しずつデザインが違い、それぞれの商店街の「らしさ」があり、こだわりがあると知ることができた。また、それがこの商店街の多様性を示していると思われる。

## 8. あとがき

元町商店街は、全体を通して共通性を持ちつつ、それぞれの商店街における特徴も多々あることを知りました。今まではあまり目を向けず通り過ぎてしまっていたが、今回の調査で多くの魅力を見つけ、人の人との触れあいも目にし、以前よりも親しみを感じるよう

になりました。古くからの店が立ち並ぶ中に、ちらほら新しい店も見受けられ、新旧入り混じりながらも、そこを生きしながら、現在の商店街が形作られていることが分かりました。やはり電灯とレンガ舗道が1番おしゃれに感じた点でした。1番街のヴィア・フローラやラ・ルーチェのガラスアートもきれいで、さすがに、有名な見どころであると思いました。あと、店にもさまざまな要素が交じり合った外観の店が多く、興味深かったです。他の商店街と比べてみるのも面白いと思います。

## 9. 自己評価

この商店街には今までに何度か行ったことがありましたが、それほど気に留めることなく、通っていました。しかし、今回観察法ということで、じっくりあたりを見てみると、今まで気付かなかったことをたくさん発見することができ、楽しかったです。

調査に関してよかった点は、自分なりに納得できるまで、何度か足を運び観察をした点だと思います。統計の仕方など曖昧な部分もありますが、自分で考えたやり方でとりあえず調べることができました。

反省点は、調査において注目すべき点を絞りきれいなくて、漠然と広く観察することになってしまった点です。もっと的を絞った調査であれば、もっと深く調べられたのではないかと思います。そして調査項目がはっきりしていなかったため、何度も調べに行くことになってしまいました。特に、店の外観に関しては、項目の基準が曖昧だったため、途中で白色と灰色で迷うなど、基準が分からなくなり、うまく結果が出せなくなり再び調査に行きました。

今回、初めて実際に町に出て調査を行い、事前に計画をきちんと立てておく重要性を知りました。じっくり観察するのは大変だったけど、新たな発見をすることができる点は、たいへん面白く感じました。

### 参考資料

- ・元町商店街のパンフレット
- ・元町商店街ホームページ <http://www.kobe-motomachi.or.jp/>